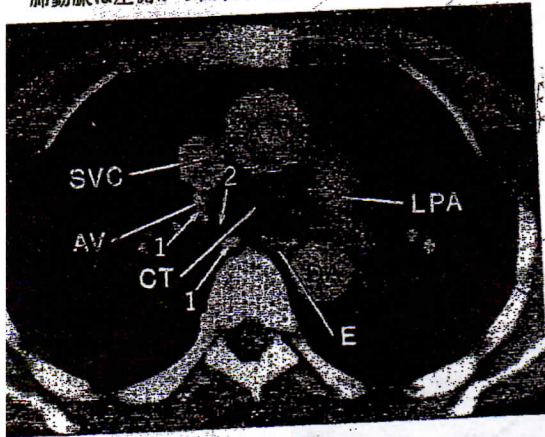


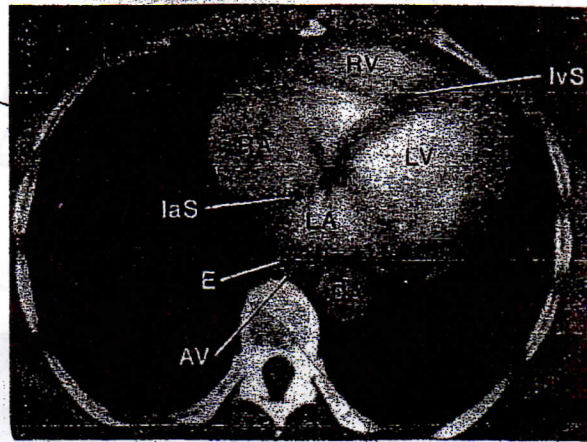
奇静脈が右気管支で分断される。
肺動脈は左側から出現する。



上縦隔と下縦隔の境を通る面

AA: 上行大動脈 LPA: 左肺動脈 DA: 下行大動脈
E: 食道 CT: 気管分岐 AV: 奇静脈
SVC: 上大静脈
矢印1: 奇静脈
矢印2: 右気管支

・気管分岐 (CT) には空気が入っているため黒い。
上縦隔と下縦隔の境 = 胸骨角あたり

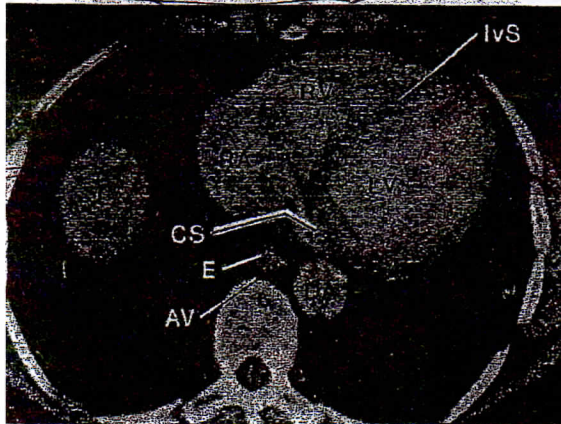


↑ 右心室の中央部を通る面 (T9)

IaS: 心房中隔 RA: 右心房 RV: 右心室
Septulum atrium (心房)
LA: 左心房 LV: 左心室
IvS: 心室中隔

・RA, RV, LA, LV が重なって見えてくる

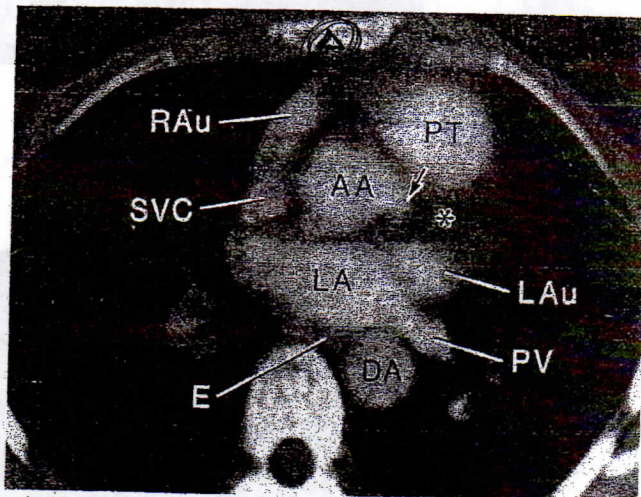
右心室の下から1/4を通る面 (T9 ~ T10)



L: liver 肝臓

IvS: 心室中隔
septulum (中隔)
atrium (心房)

・LA (左心房) がほぼ見えないうち
→ 左心房が心臓のうち、高い位置にあるの?



矢印: LCA の起始部

*: 肺動脈幹 (PT) と左心耳 (LAu) の間に介在する脂肪組織
DA: 下行大動脈 E: 食道

・チェック → Δ の位置で胸骨に右心耳の先端が接している。

・LCA の起始部
→ 左冠状動脈の後方にある